



羽ばたけ

令和2年8月19日 <第7号>

新学習指導要領スタート...しています。

小清水町立小清水小学校長 可児隆洋

1 学習指導要領とは

学習指導要領は、各学校の教育活動の基準として学習内容や学習時数等が定められたもので、令和2年度（2020年度）からは小学校の新しい学習指導要領がスタートしています。学習指導要領には、社会の変化を踏まえて未来を生きる子ども達に必要な資質・能力が示されています。およそ10年周期で改訂されますが、近年の社会情勢は予想を超えた速度で変化しているため、10年を待たずに部分改訂されていくことが多くなってきているようです。

2 資質・能力の3つの柱

新しい学習指導要領には、子ども達に育むものとして、3つの資質・能力がまとめられています。

- ・社会や生活の中で生きる知識及び技能。
- ・身につけた知識・技能を使って、未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力。
- ・学んだことを自らの将来や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等。

学校は、これらの資質・能力を総合的にバランス良く育成することを求められます。さらに、学習評価も3つの柱にそったものとなります。そのため、小清水小学校の通知票（あゆみ）も大きく変わることになります。通知票（あゆみ）の変更については、別の機会で行います。

3 「どのように学ぶか」

新しい学習指導要領は、英語やプログラミング教育が加わるということで、メディア等で大きく取り上げられることが多かったと思います。しかし、教育現場では、それ以上に重要視されているのが「どのように学ぶか」という視点です。

主体的に学ぶ事

学ぶためには、意欲や関心を持つことが大切です。これからは、目標を見据えて学んだり、振り返ったりするような学び方、延いては自分の進路や職業選択の方向性を見据えた学び方を求めていきます。

対話的に学ぶ事

子ども達同士の話し合いや、調べたり、聞き取ったりしたことを手掛かりに自分の考えを広げ・深めるような学び方を増やします。

深く学ぶ事

各教科で学ぶ「見方」や「考え方」を関連付け、問題を見だし、解決に向かうような学びを目指します。

全国学力学習状況調査問題や、チャレンジテストもこの視点にそった問題が作成されています。また、昨年からは始まった授業改善推進事業（ぐるぐる先生）は、新しい学習指導要領の下で小清水小学校の授業をどのように改善していくかという視点で導入されています。今後は、そのような視点からも、学力調査やぐるぐる先生の取り組みを取り上げていきます。



4 保護者・地域の皆様へ

このようなことを記事にしている理由は、学校の取り組みをお知らせすることで、保護者や地域の皆様のご理解とご協力を求めるためです。未来を生きる子ども達に求められる資質や能力を育むためにも、学校で学んだことを日常生活で生かしたり、地域での体験活動に生かして欲しいと思います。

夏休みが終わってからも、感染予防、拡大防止への協力をお願いします



保護者の皆様におかれましては、日頃より、新型コロナウイルス感染症対策にご理解、ご協力をいただいていることにお礼を申し上げます。

さて、本校も夏休みを終え、2学期が始まりました。全国的には、大都市圏を中心に新たな感染の波が起きているようです。道内においても、若い世代を中心に新規感染者数が増加しています。

そして、若い世代の感染拡大が確認され始めた後、中高年者に感染が広がるという傾向が見られることも強い警戒感を持たなければいけない状況です。

特に、夏休み・お盆休みを終え、帰省や旅行などで人の動きがあった後の2学期は、学校としても感染の拡大が強く懸念されます。こうした状況を踏まえ、引き続き、子ども達の感染拡大防止の取り組みへのご理解、ご協力をお願いいたします。

学校は感染予防・拡大防止のために、夏休み明けしばらくは、4月の学校再開当時の警戒レベルに戻した対応を取ります。学校だより4月号に「学校の新型コロナウイルスの対策について（生活編）」と学校の新型コロナ対策（学習編）について説明があるので参照し、引き続きご協力をお願いします。（学校だよりはHPでも閲覧できます）



学校の基本的な考え方

集団感染のリスクへの対応（学校活動は ~ を配慮しながら進めます）

- 換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底
- 多くの人が手の届く距離に集まらないための配慮
- 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控える
- 「密閉・密集・密接」の3条件が重なる場面を避ける形の工夫や配慮をします。

保護者の皆様へお願い

- マスク登校（手作りマスク等でも良いです）をお願いします。
- 必ず、ちり紙、ハンカチを携帯させてください。
- 登校前の健康観察シート記入（検温、かぜ症状等）をしてください。
- 授業中に体調不良になった場合は、速やかに早退とします。お迎えをお願いします。
- 発熱等かぜ症状がある場合は欠席とし、学校へ連絡をお願いします。

小清水小学校ホームページ
月間学校行事予定・年間行事予定も閲覧できるようになっています。

随時更新しているので、ホームページの方もご覧ください。
<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/elementary/>



すべての子ども達が国際的・革新的創造の扉を開けることのできる学校へ



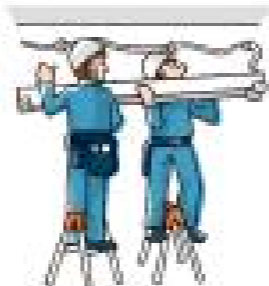
学校現場では「GIGAスクール構想」という言葉がトレンドワードです。これは、文部科学省が打ち出した教育のICT化を推進するための施策の呼称です。「Global and Innovation Gateway for All」という言葉を縮めて「GIGA」、この記事の大きな「見出し」はこの英語を意識したものです。

GIGAスクール構想とは、簡単に言うと、児童1人につき1台の学習者用端末（タブレット等）と、クラス全員が一度にアクセスしても利用できる通信環境を整備するという事です。

小清水町でも、さっそく小学校と中学校で、GIGAスクール構想への整備に取りかかっています。

夏休みが始まってすぐに、校内LAN（WiFi）のアクセスポイントの設置工事が始まり、各教室に機器が取り付けられました。

先生方には、「わかる授業・確かな学力のためのICTを活用した授業」「情報化社会で生きる力を育む授業」が今以上に求められてきます。そのための準備も並行して進めていきます。



基礎学力問題集 小清水Basic



基礎学力問題集を試作して全校児童に配付しました。活用方法は学級それぞれに任せています。

家庭学習用に使っている学級や問題を繰り返し使えるようにしている学級もあり、学年・学級の目的に応じていろいろな方法で活用しています。

そもそもの作成の目的は、「学習習慣の定着」や「家庭との連携による基礎学力の向上」です。問題の内容や実施方法も含めて、まだ試作・試行段階と言えます。

試作・試行段階ということで第2集の発行は未定ですが、目的にそった効果があれば、継続した取り組みにする予定です。

低学年から順次作成していったため、6年生への配付は夏休み直前となりました。

令和2年度のPTA役員選出について

過日、お知らせしたとおり、今年度の学級役員選出と専門委員の選出は中止としました。学校からあらためて連絡するとしていた、1学年のPTA監査について、皆さんの協力により選出が終わったのでお知らせします。

あらためて、PTA役員をお願いすることになった皆さんをご紹介します。今年度は例年通りとならないことばかりですが、学校環境、学習環境整備への協力をよろしくお願いします。



令和2年度PTA役員		学年
会長	藤川 麗 奈	1年
副会長	佐藤 輝 香 (総務委員会担当)	1年
副会長	古田 香 織 (研修委員会担当)	1年
副会長	新村 結 実 (広報委員会担当)	1年
監査	山田 昌 枝	1年
監査	山下 恵利子	※新1年生より選出

いじめの早期発見と積極的かつ正確な認知のための調査

定期的なアンケートや点検だけでは、全てのいじめを把握できません。いじめは大人が気付きにくく判断しにくい形で行われることがあります。学校では、ささいな兆候であっても、いじめではないかと疑うこと、また、早い段階からの確に関わりを持ち、いじめを隠したり軽視したりすることなく、積極的にいじめを認知することを大切にしていきます。

学校の取り組みだけでも早期発見や正確な認知ができない場合もあります。そこで、夏休み明けに配付される「子どもの変化チェックリスト」への協力をお願いすることになりました。チェックリストを基にして、気になることがあれば学級担任にお知らせください。



年間スケジュール（いじめの早期発見と積極的かつ正確な認知）

- 5月 学校生活アンケート・・・(児童の聞き取り調査)
いじめ等問題行動防止対策委員会(各種調査の共有)
- 6月 いじめ調査(道教委調査の協力)
- 7月 いじめ早期発見チェックリスト・・・(教師1学期点検)
子どもの変化チェックリスト・・・(保護者1学期点検)
教育相談
- 8月 いじめ等問題行動防止対策委員会(各種調査の共有)
- 9月 学校生活アンケート・・・(児童の聞き取り調査)
教育相談
- 11月 いじめ調査(道教委調査の協力)
- 12月 いじめ早期発見チェックリスト・・・(教師2学期点検)
子どもの変化チェックリスト・・・(保護者2学期点検)
教育相談
- 1月 いじめ等問題行動防止対策委員会(各種調査の共有)
- 2月 学校生活(取り組み評価)アンケート・・・(児童の聞き取り調査)

今年度は、長期の臨時休業があったため、年間スケジュールを変更して実施しています。





小清水小学校 学校だより

羽ばたけ

令和2年8月31日 <第8号>

通知票（あゆみ）が大きく変わります

前号（7号）では、これからの子ども達にどのような資質・能力を育成することを求められているのかについてお伝えしました。学習指導要領の改訂に伴って、学習の評価も3つの柱にそったものとなります。そのため、小清水小学校の通知票（あゆみ）も大きく変わります。

今号（8号）では、通知票（あゆみ）の評価項目の変更について詳しく説明します。本来なら、これだけの变化がある場合は、保護者懇談を通じてお伝えすべきなのですが、今年度に限っては、このような紙面での説明になることをご理解ください。

1 評価項目の変更

これまでの「あゆみ」の評価項目は、教科によって学習内容ごとに評価をする「単元別評価」と、「観点別評価」の両方で評価をしてきました。・・・裏面の図1参照

今年度の「あゆみ」からは、新学習指導要領の趣旨に合わせて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による観点別の評価となるように変更します。・・・裏面の図2参照

この3観点は、各教科において求められる以下の3つの資質・能力の育成を基にしています。

- 実際の生活や社会の中で生きて働く『知識及び技能』の習得、
- 未知の状況にも対応できる『思考力、判断力、表現力等』の育成、
- 学びを人生や社会に生かそうとする『学びに向かう力、人間性等』の涵養とされています。

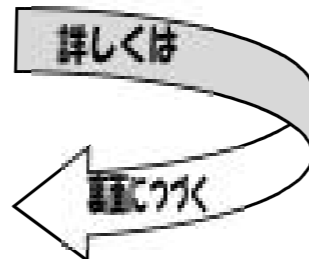
2 新学習指導要領への準備の経緯

「単元別評価」に比べて「観点別評価」は、個々の学習内容毎の評価がわかりにくくなります。なぜかと言うと、「たし算」ができたのか、「図形の面積」は理解しているのかという、個々の学習内容の評価ではなくなるからです。

通知票がわかりにくくなる代わりに、昨年度から本校では、単元テストの得点と平均点がわかる得点通知票を、学期末にお知らせするようにしました¹。また、実技系の教科や道徳・英語等で使った学習シートをあわせてお伝えできるようにファイル式の「あゆみ」への変更を行っています²。観点別の評価は長期間で評価した方が望ましいこともあり前期・後期の評価サイクル³へとしたことも新しい「あゆみ」への準備です。

今回の評価項目の変更は、これまでの中で最も大きな変更となります。変更があっても、これまで通り「あゆみ」はもとより、学校からの諸通信、個人懇談、学級懇談等の様々な機会を通じて、お子様の成長や課題等の学習状況をお伝えするのは変わりません。・・・ 1～3は裏面に説明があります

ここ数年にわたる「あゆみ」の変更に変わり、その背景や目的について、ご説明させていただきました。学校としては、今後も、子ども達の姿や客観的な指標の中に、子ども達の成長や取り組みの成果が保護者や地域の皆様にお見せできるよう努めて参ります。



日	曜日	9月の行事予定	下校バス	
			14:45	15:45
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土	土曜授業 4時間授業【給食あり】	13:30	×
6	日			
7	月	委員会		
8	火	期末業務 5時間授業		
9	水	全校朝会 期末業務 4時間授業	13:30	
10	木	やまびこタイム 2・4年 永井さん読み聞かせ1年1組		
11	金	漢字検定(会場:小学校 16:15~17:30)		
12	土	わんぱくスポーツ塾(陸上:グラウンド)		
13	日			
14	月			
15	火	クラブ		
16	水			
17	木	後期児童会役員選挙 やまびこタイム1・2年 永井さん読み聞かせ3年		
18	金			
19	土			
20	日			
21	月	敬老の日		
22	火	秋分の日		
23	水	職員会議		
24	木	やまびこタイム3・4年		
25	金	合同研修 4時間授業	13:30	
26	土	土曜授業 3時間授業・給食なし	11:50	×
27	日			
28	月	委員会		
29	火			
30	水			

小清水小学校ホームページ
月間学校行事予定・年間行事予定も閲覧できるようになっています。

随時更新しているので、ホームページの方もご覧ください。
<http://www.town.koshimizu.hokkaido.jp/elementary/>



チャレンジ教室で算数嫌いを減らす

チャレンジ教室は、こんな子どもをのりするための教室です

チャレンジ教室の成果

小清水小学校の6年生のうち約8割が算数が楽しい！
わかる！と答えます（全国学力学習状況調査より）。
2年生以上は「基礎的・基本的な内容」の定着状況が向上します（標準学力検査CRTより）。

北海道教育委員会では、子ども達に確かな学力をより一層定着させるために少人数習熟度別指導をしようとする学校に定数加配教員を配置しています。「加配教員」とは、本来、学校には児童数等に応じて教員の定数が決まっているところを、増員して配置される教員のことです。

小清水小学校も、少人数習熟度別指導をするチャレンジ教室を配置するために、教員を1人増やしてもらっています。
本校は、2学年の算数からチャレンジ教室が始まります。どの教科も積み上げが大切な教科ですが、特に算数は、その学年で学ぶ内容をしっかり習得しないと次の学年の学習に困難をきたす場合があります。そこで、児童一人一人の学習の理解や習熟の程度や興味・関心等に応じ、少人数できめ細かな学習指導を行い、基礎的基本的な学力の定着とともに学力の向上を図っています。

先生が「わかった人、手をあげて」と言ったみんなは、「はい」と手をあげた。ぼくは、もう少し説明してほしいけど、ぼくだけ「わかりません」と言いづらから、いちおう手をあげておいた・・・



チャレンジ教室に期待されている効果

少ない人数で学習をすることによって、一人一人に応じた指導ができる。
習熟に時間がかかる児童については、時間をかけて丁寧に指導したり、既習事項に戻ったりしてつまずきの解消ができる。
習熟が早い児童については、反復的な学習や発展的な学習による指導を効果的に行うことができる。

今年度も、担任とチャレンジ教室担当教員で打合せを綿密に行い、子ども達の実態や学習内容に応じて、少人数習熟度別指導を進めています。参観日などの機会があればご覧くださり、学校の取り組みにご理解をいただきたいと思ひます。

2学期始業式



1学期に引き続き、2学期始業式もテレビ始業式となりました。校長は児童のいない体育館で...全校児童は教室でテレビを見るといふ形です。
今回は、子ども達が始業式に参加している様子を写真に撮ってもらいました。
早く、皆さんの元気な挨拶や歌声を聞けるよう願っています。

夏休み作品展

夏休みの作品を、例年通りに多目的ホールで展示しました。



できるだけ作品同士の間隔をあけて展示したり、今回は作品に触らないというルールでの展示でした。
それぞれの作品の感想を発表したり、意見交流するなどの学びに生きています。

なわとび検定(1学期)の結果表



今年度から、誰が何級になったかわかるように体育館前に掲示するようになりました。
今回は、全校のトップをいく二人と一緒に紹介します。

通知票(あゆみ)が大きく変わります

図1は、昨年度までの小学校4年生算数の評価項目です。「関心・意欲・態度」「数学的な考え方」については、観点別評価になっていました。また、知識・技能については単元別(大きな数、割り算、資料の整理、がい数、等)の単元の学習内容別になっていました。

図1

算数	関心・意欲・態度	数理的な事象に関心を持ち、進んで学習に活用しようとする。	◎
	数学的な考え方	数量や図形についての基礎的な知識の活用を通して、数学的な考え方ができる。	○
	技能	がい数を伴った計算やわり算の筆算が正確にでき、大きな数を読めることができる。また、資料集がグラフから読み取れる。	◎
	知識・理解(1)	億や兆の整数の仕組みがわかる。	◎
	知識・理解(2)	ある数が1位数のわり算の筆算の仕方がわかり、答えの確かめ方がわかる。	◎
	知識・理解(3)	折れ線グラフの変化の様子を読み取ることができる。	◎
知識・理解(4)	がい数の求め方がわかる。	○	
知識・理解(5)	ある数が2位数のわり算の筆算の仕方がわかり、答えの確かめ方がわかる。	○	
知識・理解(6)	いろいろな計算が混ざった式の解き方の順序がわかる。	◎	

図2

算数	知識・技能	因数の関係、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数の計算をしたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能が身につけている。	○
	思考・判断・表現	数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、解決の過程や結果を多面的に捉え考察する力などが養われている。	◎
	主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて取り組む態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする。	○

図2は、今年度からの小学校4年生算数の評価項目です。これから身につけなければならない資質・能力が3観点にまとめられています。

しかし、この3観点だけでは、大きな数が読めるのか、資料の整理が苦手なのか等がよくわかりません。その代わりに夏休みと冬休みの前に得点通知票 1を作成しています。

1

2

例) なわとびがんばりカード
マット運動目標シート
絵や音楽の鑑賞カード

...等々

1にあらわせない、図工や体育等の紙がない実技系の教科についての解決策は、2となります。

これはあくまでも一例で、どのような形式になるかは統一できない上に、全てにおいてこのようなシートを使うとも限りません。あくまでも参考としてお知らせするようになります。

3年間の評価は、大きく2つのサイクルで目標設定と評価・改善を繰り返します。個人の通知表だけでなく、参観日の懇談では、集団としての振り返りと目標設定を行っています。

これらの機会を通じて、お子様の成長や課題について保護者の皆様と共有していきます。

3年間の評価サイクル

【前期】

4月(参観日)・・・学級の目標と手立て
6月(参観日)・・・1学期の振り返り
7月(学期末)・・・単元別得点通知
(特別支援学級は所見)

【後期】

9月(前期末)・・・観点別評価・所見
11月(参観日)・・・2学期の振り返り
12月(学期末)・・・単元別得点通知
(特別支援学級は所見)
2月(参観日)・・・3学期の振り返り
3月(年度末)・・・観点別評価・所見
単元別得点通知